

株式会社プロツァと官民連携事業にかかる契約を締結 ーラオス・世界遺産の街で3輪EVを活用した低公害型公共交通システムを実証ー

国際協力機構（JICA）は、2014年10月31日、株式会社プロツァ（愛知県）と「ラオス国 三輪電気自動車を活用した低公害型公共交通システムの普及・実証事業」にかかる契約を締結しました。



3輪EV「Pecolo」とバッテリー交換ステーション



事業対象路線図（準備中）

ラオスでは堅調な経済成長に伴い、主に都市部における自動車の増加による交通渋滞と大気汚染が社会問題となっており、公共交通インフラの改善が喫緊の課題となっています。加えて、豊富な包蔵水力を活用した国産の水力発電エネルギーの産業利用も政策上の課題となっています。

本事業は、ルアンパバーン郡の世界遺産地区を通る2路線において、(株)プロツァが開発した3輪EV「Pecolo」の定時定路線運行をラオス国公共事業運輸省と共同で実施し、運行実績や収益、費用データを収集・分析することにより、その技術的及び経済的優位性を実証するものです。「Pecolo」は、脱着式のリチウムイオン電池を搭載することで充電待機時間の短縮と車両の小型化を実現しており、大規模な充電インフラを整備する前でも導入することが可能です。

(株)プロツァとしては、本事業を通じてラオスにおけるEV技術者の育成、サポート体制を確立するとともに現地生産体制の確立による製造コストを削減し、現地での事業拡大を目指します。また本事業により、ガソリン車の代替として市民・行政にEVに対する理解が促進され、官民による低公害型公共交通システムがラオスに普及する契機となり、国産のエネルギーを活用したEVタウンを実現することで、世界遺産ルアンパバーンの魅力がより一層向上することが期待されています。

※この取り組みは、我が国の中小企業などの製品・技術が途上国の開発に有効であることを実証するとともに、その現地での適合性を高め、普及を図ることを目的とした「普及・実証事業」として実施されるものです。2014年3月に第3回の公示を行い、本事業が採択となりました。

以上